

# 前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事

図面番号	図面名称	縮尺
M-00	表紙・図面リスト	—
M-01	機械設備工事 特記仕様書	—
M-02	工事区分表	—
M-03	配置図	A1 1：300 A3 1:600
M-04	凡例	—
M-05	空気調和設備 機器表	—
M-06	空気調和設備 平面図	A1 1：100 A3 1:200
M-07	空気調和設備 平面図（空調ドレン）・外部倉庫平面図	A1 1：100 A3 1:200
M-08	換気設備 据付断面図	A1 1：100 A3 1:200
M-09	給排水衛生設備 機器表・器具表	—
M-10	給排水衛生設備 屋外配管図	A1 1：300 A3 1:600
M-11	給排水衛生設備 平面図	A1 1：100 A3 1:200
M-12	給排水衛生設備 詳細図	A1 1：50 A3 1:100
M-13	建物立面図（参考）	A1 1：150 A3 1:300
M-14	建物断面図（参考）	A1 1：100 A3 1:200
M-15	仮設計画図（参考）	A1 1：300 A3 1:600

設 計 図			担当・資格等		<div><div><div>S</div><div>Spirit Of Place</div></div><div>関・空間設計</div><div>一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号</div></div>	石巻市建設部建築課		工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-00
			図面名	表紙・図面リスト				縮尺	—				
			設計年月日	令和7年 5月									

[illegible]

	建設リサイクル法	建設リサイクル法 ・ 作業工事  落れが決定した業者は、分別解体等命令で定める様式第1号表1～3のうら当該事業に該当する別表及び工程表を決定し、契約締結時に、契約担当者等による説明書を作成するものとする。また、特定建築資材廃棄物の再資源化が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。 ・ 対象外工事			
① 総合試験調整等	※ 本工事に伴って下記の項目の総合試験調整等を行う。報告書を作成する。 ・ 別途 総合試験調整等の項目 ○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温度測定 ○ 室内空気及びじんあいの測定 ○ 騒音の測定 ○ 初期運転状態の記録 ○ 末端水の水質測定 ○ 汚濁負荷係数の測定 ○ 排水浄化槽放流水質の測定 ○ 暖房設備の稼働状況の測定 ○ 圧降下測定 測定箇所は、監督職員の指示による。				
② 容量等の表示	(1)機器能力、容量等は指示された数値以上とする。 (2)電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。				
③ 耐震措置	機器、管渠、ダクト等は耐震性を考慮し壁面に据え付け、取付け又は支持する。 新設建築物の計装及び施工方法、次に掲げる事項等について建築設備設計・施工指針(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所発第2014年説)による。				
	設計用標準水平基準度(K <sub>a</sub> )				
	設置場所	特定の施設	一般の施設		
	上層階、屋上及び屋根	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
	中層階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
	一層及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
	上層階、屋上及び屋根	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
	中層階及び地下階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
	注(1)設置場所区分は図表の様式により「A」から「D」までの範囲は防振支承の機能に適合する。				
	(1) 設置場所は、(ア)一般の施設 (B) 特定の施設 (C) (D) の設置は防振支承の機能に適合しない。				
	(2) 本工事は、(ア)一般の施設 (B) 特定の施設 (C) (D) の設置は防振支承の機能に適合しない。				
	(3) 地震時の揺動は、(ア)一般の施設 (B) 特定の施設 (C) (D) の設置は防振支承の機能に適合しない。				
	(4) 地震係数は、(ア)一般の施設 (B) 特定の施設 (C) (D) の設置は防振支承の機能に適合しない。				
	(5) 100kPa以下の軽重な機器(標準仕様書の重量を用いるものは除く)においても耐震性を考慮し、据け又は支持を行うものとするが、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(6) 既設機器のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(7) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(8) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(9) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(10) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(11) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(12) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(13) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(14) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(15) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(16) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(17) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(18) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(19) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(20) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(21) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(22) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(23) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(24) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(25) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(26) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(27) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(28) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(29) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(30) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(31) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(32) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(33) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(34) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(35) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(36) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(37) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(38) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(39) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(40) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(41) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(42) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(43) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(44) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(45) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(46) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(47) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(48) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(49) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(50) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(51) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(52) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(53) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(54) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(55) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(56) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(57) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(58) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				
	(59) 設備間のつり金具も、前記指針の方法にならなくてよい。				

11. 弁 類	※ J1S又はJ10K ※ J1S又はJ10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
12. 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ形      ※ スリーブ形
13. 温度計	※ 標準仕様書、標準図による。他、指示した箇所に取り付ける。(配管用はJIS規格内は、空気調和、温暖暖房機まわりの給気ダクト、送気ダクト及び外気ダクト ・ 冷凍水ヘッダー（注）及び冷凍水ヘッダーの各取付管 ・ バッテージ型空気調和機の冷却水及び温水の出入口
14. 瞬間流量計	※ 着脱可能形（※ 全数、※ 図示による） ※ 着脱可能形の場合、その指示部（・ 40A用 個、100A用 個、250A用 個）を付する。 ・ 固定形（止水コック付）、測定用タッピング（32mmビト管用流量計用）
15. オイルタンク	(1) オイルタンク本体は図示による。 (2) 送油用指示計 ※ 取付ける      ※ 取付けない (3) 計量方法は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100リットル未満目盛刻印とする。計量口は設けとする。
16. 積算油量計	図示の箇所に取り付ける（熱差機器等）。
17. 注油口及び指示ギヤ	標準図（機材 6）による。 ・ 単数形      ・ 共用形（・ ロリーアース付）
18. 消音内貼り	(1) 施工箇所は図示による。 (2) 内貼りチャンパー図の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 吹出に接続するチャンパーの消音内貼りは別図による。
19. 保 温	(1) 建物の空気抜き等の配管は空気抜きまでとし（空気抜きを含む）、仕様は冷水水管の項による。 (2) 屋外露出配管の保温は、給排水の項による。 (3) 外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※ 要（全熱交換機の給気ダクトを含む）、不要 (4) 排気ダクトの外壁面放熱部より1mm程度保温とする。（チャンパーボックスを含む） (5) 冷卻管（断熱材被覆配管）の保温仕様 屋外露出部      ・ 保温化熱ケース（樹脂製）      ・ 外装なし      ・ 断熱材 断熱材      ・ 保温化熱ケース（樹脂製） (6) 高圧高気管及びヘッダーの保温厚は      mmとする。
20. 電気工事の範囲	(1) 地震感知器の配管配線 ※ 別途      ※ 本工事 (2) 防煙ダクトと運動制御装置の配管配線及び運動制御から煙感知器との配管配線は ※ 別途      ※ 本工事
21. 塗装	(1) 屋内露出排気ダクトの塗装（居室を除く）は ※ 行わない      ・ 行う (2) 屋内露出冷却配管の塗装（居室を除く）は ※ 行わない      ・ 行う
22. 換気設備	(1) 空気調和      ・ 冷暖      ・ 暖房設備      の当該事項に準ずる。 ○ 5      ・ 6      ・ 7      ○ 8      ・ 9      ○ 18      ○ 19      ○ 21 (2) ※ 別途      ※ 本工事      ・ 既設 ※ 亜鉛板      ・ ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる） ※ アングルフランジ以下      ・ コーナポルト工法（共振フランジ又はスライドオンフランジ） (3) (1) フード周縁の天幕（フード面から天井面まで） ※ 取り付ける      ・ 取り付けない (2) フードコック ※ 取り付ける      ・ 取り付けない (3) 材質（天幕とも） ※ ステンレス鋼板（SUS430又はSUS304） (4) 多室箇所の排気口 次の系統のダクトのシールは、標準図（施工4.4.6）のNシール＋Aシール＋Bシールとし、水抜き管を設ける。
23. 排煙設備	1. ダクト      ・ 亜鉛板製      ・ 鋼板製（1.6mm以上） 2. 排煙口の形式      ・ 可動羽根（スリット状）      ・ 可動バルブ 3. 排煙口開放装置      ・ ワイヤ式      ・ 電気式（遠隔操作機能      ・ 要      ・ 不要） 4. 排煙流量測定方式      建築協会の規定基準業務指導書（（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙流量の検査方式に準ずる。
24. 自然排気設備	1. 中央監視制御      中央監視制御装置の構成機能は別図による。 2. 計装工事の記録      (1) 屋外・屋内露出の配管は、図面に特記のない限り金属管記録とする。 (2) 天井内隠ぺいの配管は、図面に特記がなければケーブル記録とする。
25. 衛生器具設備	1. 大便器洗浄弁      ・ 洗浄タンク方式      ・ 洗浄弁方式（不連続給水付） 2. 便器洗浄用タンク ※ 手洗なし      ・ 手洗付 3. 小便器自動洗浄      個別感知方式とする。（・ 小便器一体型      ・ 小便器分離型） 4. 器具付風水栓      固定式または（節水式）とする。 5. 自動水栓 ※ 電源供給方式（※ AC100V）      ・ 乾電池      ○ 自己給電 6. 温水洗浄便座加熱方式      ・ 瞬間式      ○ 貯湯式 7. 大便器耐火カバー      設ける（ビット内を除く）
26. 給水設備	1. 量水器      (1) 親メーター ※ 採用      ・ 買取り      （隔測メーター      ・ 有      ・ 無） (2) 子メーター ※ 買取り      （隔測メーター      ・ 有      ・ 無） 2. 量水器樹      (1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品      ・ 標準図（機材57） (2) 子メーター用 ※ 標準図（機材57）      ・ 水道事業者の指定品 3. 配管材料      (1) 一般配管      (3) 屋外土管用 ・ ステンレス鋼管（SUS304）      ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩化ビニル管（V・A・V・B）      ・ 塩化ビニル管（VD） ○ ポリ粉末鋼管（PA）○ PB ○ PD（※ビット内）      ・ 水用硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ ポリ粉末鋼管（PD）      ・ 水用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管（H1VP） (2) 土間配管（廊下、浴室等のシンダー内含む）      ○ ポリエチレン ・ ステンレス鋼管（SUS316）      ・ 水用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 塩化ビニル管（VD） ・ ポリ粉末鋼管（PD） 4. 不凍水栓柱      化粧ケーシング（・ アルミ合金製      ○ 合成樹脂製） 5. 弁 類      (1) 水道連結部分 ※ J1S又はJ10K ○ 水道事業者の規定による      K (2) その他の部分 ※ J1S又はJ10K      ・ J1S又はJ10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 6. 給水栓      (1) 屋内（※ 一般水栓      ・ 耐寒水栓）      (2) 屋外（※ 耐寒水栓      ・ 一般水栓） ・ 普通型      ・ 耐寒型      ・ 普通型      ・ 耐寒型 ・ 普通型      ・ 耐寒型      ・ 普通型      ・ 耐寒型 7. 埋設深さ      (1) 一般敷地内（0.45 m以上）      (2) 敷地内埋設道路（0.6 m以上） (3) 公道部分（※ 水道事業者及び道路管理規定による） 8. 保 温      (1) 量水器樹内の保温を行う。 (2) 屋外露出配管（フランジを含む）は、標準仕様書第2編（表2.3.6.2・ハ）とし、厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 9. 埋設開閉用ハンドル      本工事に ※ 含む（水道事業者管理用以外の非操作用）      ・ 含まない 10. 水道加入金等      水道加入金      ・ 要（・ 本工事      ・ 別途      ・ 不要 ・ その他      ・ 不要 11. ステンレス管の接合方法      (1) 呼び径60S U以下      S A S 2 2（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 (2) 呼び径75 S U以上      ・ 溶接接合      ・ ハウジング形管継手による接合      ・ フランジ接合 12. その他      給水管の最小口径は20mmとする。ただし、給水接続部分を除く。
27. 排水設備	1. 配管材料      (1) 屋内汚水管      (2) 屋内排水用      (3) 屋外土中汚水、雑排水管 ・ 排水用塩化ビニル管      ・ 排水用塩化ビニル管（白）      ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）      ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）      ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）      ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）      ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） (4) 土間配管      (5) 通気管      (6) 排水アップ排水管 ・ 排水用塩化ビニル管      ・ 配管用炭素鋼管（白）      ・ ポリ粉末鋼管（PD） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）      ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 台所流し等の床土露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管もよい。

排水樹	<p>○ 異リストは図面番号 ( )</p> <p>(1) 材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RC</li> <li>・ 硬質塩化ビニル</li> <li>・ ポリプロピレン</li> <li>・ SC</li> </ul> <p>(2) ふた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉄板製</li> <li>・ MHA</li> <li>・ MHB</li> <li>・ TBA</li> </ul> <p>・ 樹脂製</p> <p>※ <del>スチレン</del> 流体力学入りおよび樹脂製ふたは原則として SUS チェーン付</p> <p>(3) 規格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本下水道協会 (JWSA)</li> <li>○ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS)</li> <li>・ 市町村別基準 ( ・ 有 ・ 無 )</li> </ul>
排水設備	<p>3. グリース阻集器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FRP 製 ( L )</li> <li>・ SUS 製 ( L )</li> </ul> <p>詳細は図示。</p> <p>4. 満水試験継手</p> <p>図示の箇所に取り付け、満水試験を行うこと。</p> <p>⑤ 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。</li> <li>○ 衛生器具などの取付完了後、燃焼試験を行う。</li> </ul> <p>6. 放流負担金等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不要</li> <li>・ 要 ( ・ 別途工事 ・ 本工事 )</li> </ul> <p>7. 基礎材</p> <p>※ 再生クラッシャーラン</p>
給湯設備	<p>1. 配管材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス鋼管 ( SUS304 )</li> <li>・ 耐熱性ライニング鋼管</li> <li>・ 鋼管</li> <li>・ 被覆鋼管</li> <li>・ 保温付被覆鋼管</li> </ul> <p>＜配管及び供給タンクよりポリマー等への接続水管を含む。＞</p> <p>2. 弁類</p> <p>3. 湯沸器の排気管</p> <p>厚さ 0.5mm 以上のステンレス鋼板製とする。</p> <p>4. 保温</p> <p>湯沸器の給排湯 (二重管) のいんべい部保温を行う。標準仕様書第 2 編 3. 1. 5 表 2. 3. 5 の (h)・(f)・(X)</p> <p>5. ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>(1) 呼び径 60SU 以下 SAS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合</p> <p>(2) 呼び径 75SU 以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶接接合</li> <li>・ ハウジング配管継手による接合</li> <li>・ フランジ接合</li> </ul>
消火設備	<p>① 配管材料</p> <p>(1) 一般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 配管用炭素鋼管 (白)</li> <li>・ 圧力配管用炭素鋼管 (Sch40)</li> </ul> <p>(2) 地中埋設部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外面被覆鋼管 (SGP-VS)</li> <li>・ ポリエチレン被覆鋼管 (SGP-PS)</li> <li>・ 外面被覆鋼管 (STPG-370VS)</li> <li>・ ポリエチレン被覆鋼管 (STPG-370PS)</li> </ul> <p>(3) 二酸化炭素用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圧力配管用炭素鋼管 (継目無管) (Sch80)</li> </ul> <p>② 屋内消火栓種類</p> <p>○ 易操作性 1 号消火栓</p> <p>③ 消火栓開閉弁</p> <p>○ JIS10K</p> <p>○ JIS20K</p> <p>④ 保温</p> <p>(1) 屋外露出管については給水管に準ずる。</p> <p>(2) 充水タンクの保温</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工しない</li> <li>・ 施工する</li> </ul> <p>(3) 消火配管の保温</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内消火栓</li> <li>・ 施工しない</li> <li>○ 施工する</li> <li>・ スプリングラ</li> <li>・ 施工しない</li> <li>・ 施工する</li> </ul> <p>⑤ 消火器類</p> <p>(1) 消火器</p> <p>種類</p> <p>・ 数量</p> <p>(ABC 10型・7本)</p> <p>(2) 消火器収納箱</p> <p>仕様</p> <p>・ 材質</p> <p>・ 数量</p>
厨房設備	<p>1. 厨房機器類</p> <p>(1) 図示による (材質などは標準仕様書による)。ただし、寸法は参考とする。</p> <p>(2) 厨房機器据付要領は、標準図施工 7.4 による。</p>
ガス設備	<p>1. 配管材料</p> <p>(1) 一般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 配管用炭素鋼管 (白)</li> <li>・ ガス事業者の規定による</li> </ul> <p>(2) 地中埋設部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ポリエチレン被覆鋼管</li> <li>・ ガス事業者の規定による</li> <li>・ ガス用ポリエチレン管</li> </ul> <p>2. 都市ガス</p> <p>(1) ガスメーターはガス事業者の設置。子メーターは本工事</p> <p>(2) 引込み負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不要</li> <li>・ 要 ( ・ 別途工事 ・ 本工事 )</li> </ul> <p>3. 液化石油ガス</p> <p>(1) ガスボンベ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 借用</li> <li>・ 買い取り</li> <li>( ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 )</li> </ul> <p>(2) ガスメーター</p> <p>親メーターはガス事業者の設置。子メーターは本工事とする。</p> <p>(3) 集合設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準図 (施工 7.2) による (本欄)</li> </ul> <p>(4) 燃焼防止等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準図 (施工 7.3) [・ (a) ・ (b) ]</li> <li>・ ボルト・チェーン等は SUS 製とする。</li> <li>・ 容器固定具を GL+300 に追加設置する。</li> </ul> <p>4. ガス洩れ警報器</p> <p>図示の場所に取付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( ・ 分箱形</li> <li>・ 一体形</li> <li>・ 別途電気工事</li> </ul> <p>外部出力端子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( ・ あり</li> <li>・ なし )</li> </ul> <p>5. 埋設深さ</p> <p>(1) 一般敷地内 ( m 以上)</p> <p>(2) 敷地内車庫間道路 ( m 以上)</p> <p>(3) 公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による)</p> <p>6. その他</p> <p>配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。</p> <p>供給事業者名 ( )</p> <p>1. 方式</p> <p>用途</p> <p>方式 ( ・ ロープ式</p> <p>・ 油圧式 )</p> <p>用途 ( ・ 一般用</p> <p>・ 車いす用</p> <p>・ 荷物用 )</p> <p>2. 積載量 (kg)</p> <p>定員 (人)</p> <p>3. 速度 (m/分)</p> <p>停止箇所</p> <p>速度 (kg</p> <p>n/分)</p> <p>停止箇所 ( ・ 箇所停止)</p> <p>4. 管制運転</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震</li> <li>・ 火災</li> <li>・ 停電</li> <li>・ 冠水</li> <li>・ 自家発</li> </ul> <p>5. 工場検査予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ あり</li> <li>・ なし</li> </ul> <p>6. 無償保守期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり ( ・ ヶ月)</li> <li>・ なし</li> </ul>


表 1 工事完成検査における完成書類一覧(警備工事)(石巻市ホームページ参照)及び下表により作成する。

名 称	完 成 書 類	部数
1. 竣工図		
① 白図製本 (青表紙黒文字)	原簿二つ折り	1部
② 白図製本 (黒表紙黒文字)	A3版縮小44折り	3部
③ 電子データ	.XMT又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	1部 CD/DVD-R 2枚
2. 工事写真		
電子データ	PDF形式	2部 CD/DVD-R 1枚

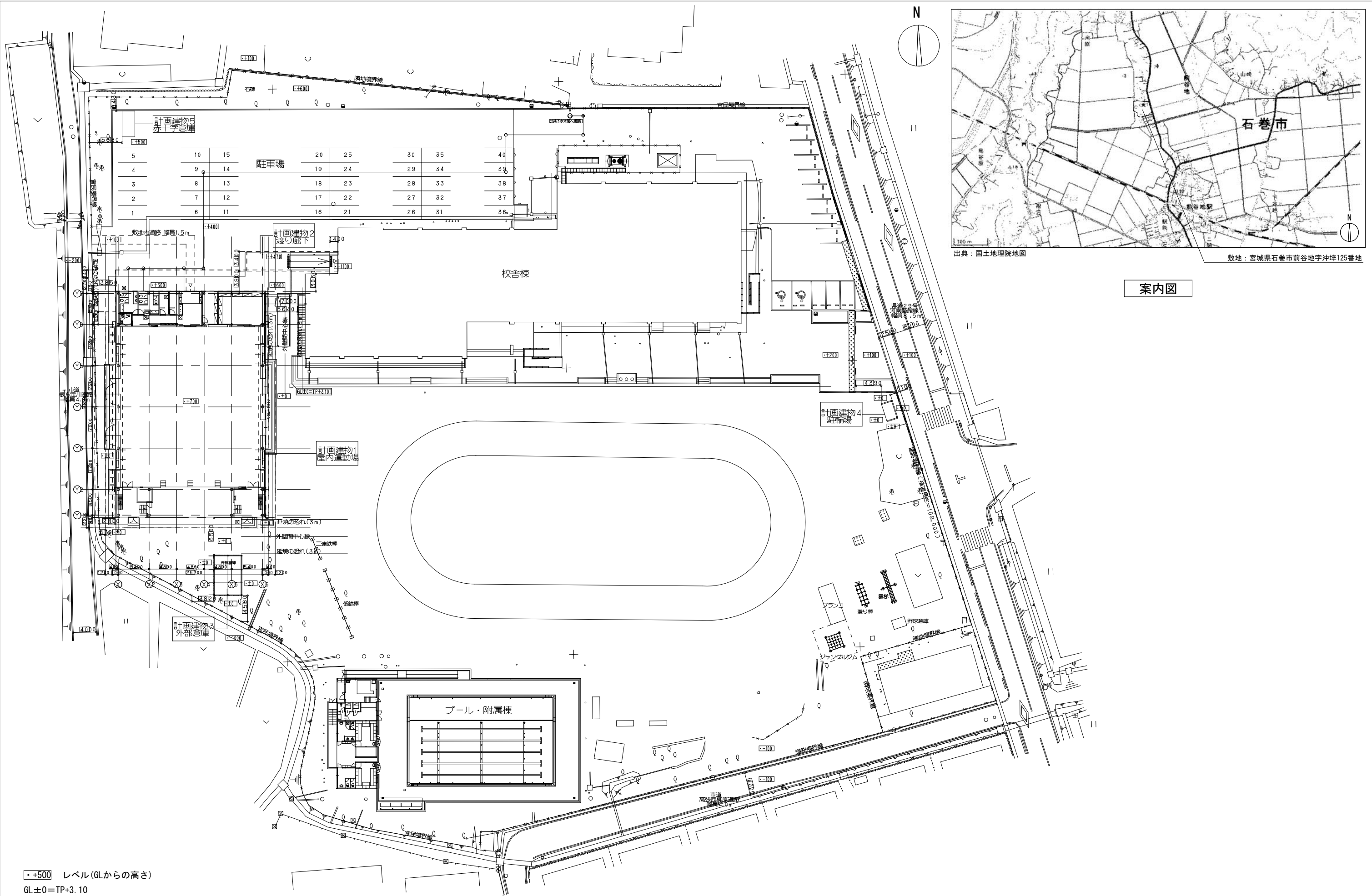
※項目ごとに A4 版フラットファイルでの提出を基準とし、分冊になる場合は A4 版スリーブファイルでの提出とする。

※成果品ボックスについては監督官の指示によるものとする。

注記：機器参考図について  
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。  
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

設 計 図		担当・資格等		 <b>Spirit of Place</b> 関・空間設計 <small>一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号            管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号</small>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-01
		福島直人	岩根敦 <small>一級建築士 第337278号</small>			図面名	機械設備工事 特記仕様書	縮尺	—		
						設計年月日	令和7年 5月				

各工事の区分表									
工 事 項 目		建築	電気	機械					備 考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ		○	○	○					各工事に必要な「リブ」は各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強		○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修		○	○	○					
工場製作間仕切及び同左の天井・床・各種設備器具の穴開け・取付枠及び補強									
天井付各種設備器具の穴開け・取付枠及び補強・補修		※	○	○					※下地補強のみ建築
設備関係諸室のシンダーコンクリート									
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎		○							
同上 柱上（防水）									
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ・埋込み			○	○					
自動ドア・防火扉（シャッター含む）									※煙感からの信号、1次配線
台所用レンジフード及び浴室天井扇及び取付調整									ユニットバス除く
同上ダクト接続									
同上電源用配管、配線及び接続									
ユニットバス（ユニットバス含む以下同じ）差出し及び据付工事									
浴槽及び据付									浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付									
同上廻りシーリング打ち									
同上への配線及び配管接続									※1次側のみ
キッチンキャビネット及び据付工事									
同上への配管接続									
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）									
同上への照明用電源配線及び接続									
洗面台及び据付				○					
流し台（製作物のみ）		○							
同上配管接続				○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続			○						
洗濯パン									
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付				○					
ダクト用ベントキャップ及び取付				○					
床、壁、天井点検口（下地補強共）		○							設備留用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付、配線			※	○					※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付				○					
床暖房工事									※1仕上げは建築 ※2電気又は空調は電気式・温水式区分による
非常用照明及び誘導灯			○						
消火器				○					
同上表示及び収納箱		○							
各種配管、ダクトの雨掛り躯体貫通部の「シーリング」打ち			○	○					
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック									
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板									
三方枠廻りのノロ詰め									
エレベーター機械室床、穴開け復旧工事									
資材搬入口の仮設並びに復旧工事		○							
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事		○							
整礎・ドレン・受け樋		○							
整礎から第一樹までの接続		○							
同上第一樹以降の排水設備（樹・側溝等）		○							
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ		※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事			○						
屋上点検口、各種タラップ工事		○	※	※					※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）									※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）		○							
同上照明器具及び接続									
ブロパポンペ庫									
同上配管工事									設置は衛生
便所の目皿・手廻り		○							便器一体の手廻り除く
便所のペーパーホルダー									
手洗い乾燥機				○					
浄化槽・受水層・オイルタンク躯体									※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場、歩道工事		○							
雨水排水側溝設置工事		○							
同上排水管接続		○		○					




・+500 レベル (GLからの高さ)  
GL±0=TP+3.10  
FL=GL+700

設 計 図	担当・資格等		<div><div><div>S</div><div>Spirit Of Place</div></div><div>関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号</div></div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-03	
	福島直人				岩根敦 一級建築士 第337376号	図面名	配置図	縮尺			A1:1/300 A3:1/600
						設計年月日	令和7年 5月				

[illegible]

凡例（給排水衛生設備）				
記 号	名 称	仕 様	施工区分	備 考
—— ———	給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB）	屋内一般	
		水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）	ビット内	
—— ———	屋外給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）	地中埋設	
		水道用ポリエチレン二層管	地中埋設	50A以下
——→——	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）		屋内露出部は保温する。
———	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）		屋内露出部は保温する。
———	屋外排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VU）	地中埋設	
———	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）		
—— x ——	屋内消火栓管	配管用炭素鋼鋼管（白）	ねじ接合 屋内一般・ビット内	保温する。
		消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	ねじ接合 地中埋設	
—⋈—	仕切弁	JIS10K g/cm2		
—Z—	逆止弁	JIS10K g/cm2		
⊗	水栓			
⊕	床上掃除口	COA又はCOB		
⊗	床排水金物	共栓付		
○	間接排水金物			
Ⓜ	粉末消火器	ABC10型	本工事	
⌒———	ベントキャップ	ステンレス製深形フード（低圧損・水切・防虫網付）		指定色焼付塗装
○	排水樹	小口径塩ビ樹	汚水・雑排水	
⊠ ●	地中埋設標・ピン	コンクリート製、鉄製		

注記1. 硬質ポリ塩化ビニル管の接合については、躯体等の貫通で両端が固定されている場合は、管の収縮を吸収できる伸縮ソケット（伸縮継手）を取付けること。

設 計 図		担当・資格等		 <b>関・空間設計</b> 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校校屋内運動場改築機械設備工事			備考		図面番号 M-04
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	凡例	縮尺	—			
						設計年月日	令和7年 5月					

機器表 (1)

屋外機											屋内機															
(C:圧縮機 F:送風機)																										
記号	型 式	台数	定格能力 (kW) (JIS条件時能力)		定格消費電力 (3φ・200V) (kW)	付属品、他			非常用電源	備 考	記号	型式	台数	定格能力 (kW)		消費電力 (定格) 1φ・200V (kW)	付属品、他				非常用電源	設置場所	備 考			
			冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)		SP防振 架台	SUS製 防湿ボード 取出 吸込	冷房能力 (kW)						暖房能力 (kW)	フィル ター		防振 金具	フィル ター・ボ ックス	リモコン	外部配線 出力端子						
ACP-1	空冷ヒートポンプ式 マルチパッケージ形 空調機 (冷暖切替) 【寒冷地仕様】	1	67.0	77.5	(冷) 22.0 (暖) 20.6 (低暖) 35.1 (C) 8.63+8.63 (F) 0.46+0.46	○	○	○	—	プレーカー容量 150A/60.0mm2	ACP-1-1~4	床置形	4	16.0	18.0	0.35	○	—	—	4	—	—	1階 アリーナ	本台80付属 転倒防止金具付属 ゴムパット付属		
ACP-2	空冷ヒートポンプ式 マルチパッケージ形 空調機 (冷暖切替) 【寒冷地仕様】	1	67.0	77.5	(冷) 22.0 (暖) 20.6 (低暖) 35.1 (C) 8.63+8.63 (F) 0.46+0.46	○	○	○	—		プレーカー容量 150A/60.0mm2	ACP-2-1~4	床置形	4	16.0	18.0	0.35	○	—	—	4	—	—	1階 アリーナ	本台80付属 転倒防止金具付属 ゴムパット付属	
ACP-3	空冷ヒートポンプ式 ルームエアコン (冷暖切替) 【寒冷地仕様】	1	2.2	2.8	(冷) 0.425 (暖) 0.54 (低暖) 1.98 (C) 0.6  ※1φ100V	○	○	—	—			ACP-3-1	壁掛形	1	2.2	2.8	—	○	—	—	1	—	—	1階 放送室		
	</																									

記号	型式	台数	定格発熱量 kW	定格消費電力			暖房型式		設置型式				仕様		サーモスタット		スイッチ		付属品		設置場所	備考	
				kW	φ	V	自然 対流	温風 対流	床埋込	壁掛形	コーナ ー形	天井 埋込	銅板製 粉体 塗装	SUS 製	内蔵	外付	内蔵	外付	いたらず 防止 カバー	保護 ガード			
EH-1	電気パネルヒーター	2	0.5	0.5	1	100	○				○				○	○		○		○	○	1階 WC(男)(女)	参考外形 490W×500H×70D
EH-2	電気パネルヒーター	1	0.5	0.5	1	100	○					○			○	○		○				1階 多目的WC	参考外形 840W×350H×48D
共通事項																							
1. 過熱防止装置付とする。 2. 機器類の能力・容量は表示された能力以上とし、電動機出力・消費電力は原則として表示以下とする。																							

機器表 (2)

記号	名称	台数	仕様	電動機			設置場所	備考
				$\phi$	V	k W		
HEU-1	全熱交換形換気扇	1	天井カセット形      ダクト径100 $\phi$ × 150 mm $\phi$ × 60 Pa	1	100	0.069	1階 放送室	エンタルピー熱交換効率
	付属品		インテリアパネル、コントロールスイッチ					冷房64%・暖房70%
			SUS製深型フード150 $\phi$ × 2、防振吊金具、他付属品一式					

特記事項


- 全熱交換効率は、JIS B 8628 に規定された試験方法による。
- 機器種の能力・容量等は表示された数値以上とし、電動機出力・消費電力等は原則として表示された数値以下とする。
- 予熱時外気取り入れ停止機能、自動換気切替機能とする。
- 深型フードは、低圧損・防虫網・水切付とする。（指定色供付塗装）

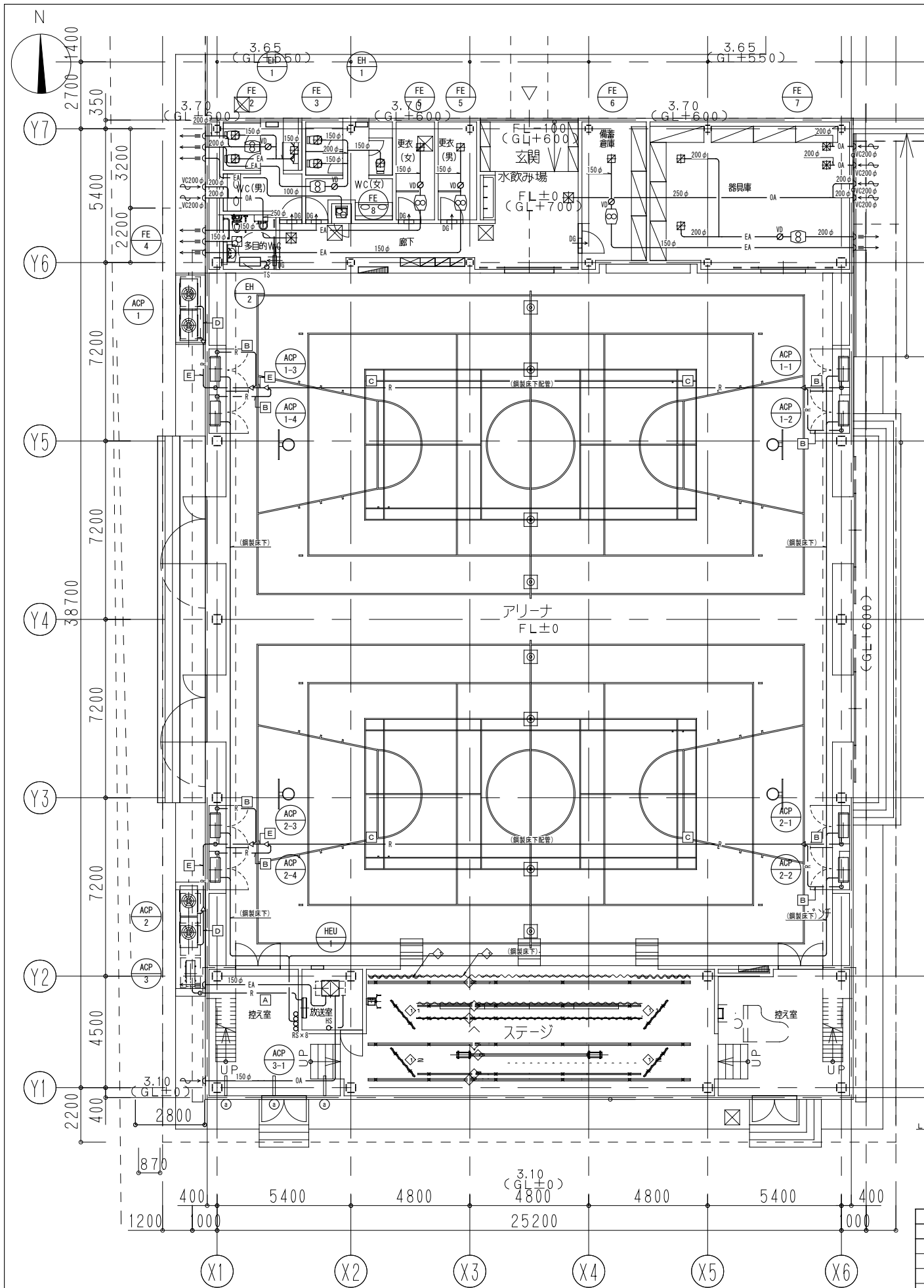
機器表 (3)

記号	名称	台数	仕様		電動機			設置場所	備考	
					φ	V	kW			
AHF-1A	エアーク送ファン	4	標準形	風量：1970 m3/h	外形寸法(参考)：910×220×272H	1	100	0.11	1階 アリーナ	
～			付属品	コントロールスイッチ(樹脂製)、防球ガード、他付属品一式						
AHF-1D										
特記事項 1. 機器類の能力・容量等は表示された数値以上とし、電動機出力・消費電力等は原則として表示された数値以下とする。										

機器表 (4)

記号	名 称	台数	仕 様		電動機			設置場所	備 考
					φ	V	kW		
FS-1A	有圧換気扇（給気専用）	1	低騒音形	羽根径350φ × 2,550 m3/h × 4.0 Pa	1	100	0.15	1階 アリーナ	FE-1Aと連動（電気設備工事）
			付属品	SUS製防雨ブレード付給気ウェザーカバー（防虫網付）、電動式シャッター、					参考型番：ENF-3SDSA2-Q
				バックガード、取付枠、他付属品一式					
FS-1B	有圧換気扇（給気専用）	3	低騒音形	羽根径350φ × 1,950 m3/h × 4.0 Pa	1	100	0.1	1階 アリーナ	FE-1Bと連動（電気設備工事）
			付属品	SUS製防雨ブレード付給気ウェザーカバー（防虫網付）、電動式シャッター、					
				バックガード、取付枠、他付属品一式					
FE-1A	有圧換気扇（排気専用）	1	低騒音形	羽根径350φ × 2,550 m3/h × 3.5 Pa	1	100	0.13	1階 アリーナ	参考型番：ENF-3SDSA2
			付属品	SUS製ウェザーカバー（防虫網付）、電動式シャッター、バックガード					
				取付枠、他付属品一式					
FE-1B	有圧換気扇（排気専用）	3	低騒音形	羽根径350φ × 1,950 m3/h × 4.0 Pa	1	100	0.1	1階 アリーナ	
			付属品	SUS製ウェザーカバー（防虫網付）、電動式シャッター、バックガード					
				取付枠、他付属品一式					
FE-2	ストレートシロッコファン	1	消音形	ダクト径150φ × 330 m3/h × 8.0 Pa	1	100	0.1	1階 WC(男)	人感センサーと連動（電気設備工事）
			付属品	SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-3	ストレートシロッコファン	1	消音形	ダクト径200φ × 360 m3/h × 9.0 Pa	1	100	0.1	1階 WC(女)	人感センサーと連動（電気設備工事）
			付属品	SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-4	天井換気扇（サニタリー用）	1	低騒音形	ダクト径150φ × 150 m3/h × 4.0 Pa	1	100	0.05	1階 多目的WC	人感センサーと連動（電気設備工事）
			付属品	SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-5	ストレートシロッコファン	2	消音形	ダクト径150φ × 100 m3/h × 10.0 Pa	1	100	0.05	1階 更衣(女)(男)	
			付属品	SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-6	ストレートシロッコファン	1	消音形	ダクト径150φ × 200 m3/h × 10.0 Pa	1	100	0.05	1階 備蓄倉庫	
			付属品	温度スイッチ、SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-7	ストレートシロッコファン	1	消音形	ダクト径200φ × 600 m3/h × 10.0 Pa	1	100	0.15	1階 器具庫	
			付属品	SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-8	天井換気扇（サニタリー用）	1	低騒音形	ダクト径100φ × 50 m3/h × 6.0 Pa	1	100	0.05	1階 掃除用具入	
			付属品	SUS製深型フード200φ、防振吊金具、他付属品一式					
FE-9	有圧換気扇（排気専用）	1	低騒音形	羽根径250φ × 500 m3/h × 4.0 Pa	1	100	0.05	外部倉庫	
			付属品	SUS製ウェザーカバー（風圧シャッター付）、バックガード					
				取付枠、他付属品一式					
特記事項 1. 機器類の能力・容量等は表示された数値以上とし、電動機出力・消費電力等は原則として表示された数値以下とする。 2. 深型フードは、低圧損・防虫網・水切付とする。（指定色焼付塗装） 3. ウェザーカバーは指定色焼付塗装仕上げとする。 4. スイッチは、全て電気設備工事とする。									

設 計 図			担当・資格等	 <b>関・空間設計</b> 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-05
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	空調調和設備 機器表	縮尺	—		
						設計年月日	令和7年 5月				



WC (男)		
系統	FE-2	
EA	GVS 150×150	3
風量	110 CMH	
B O X	300×300×300H	
内貼り	—	

WC (女)		
系統	FE-3	
EA	GVS 150×150	3
風量	120 CMH	
B O X	300×300×300H	
内貼り	—	

更衣 (女)		
系統	FE-4	
EA	GVS 150×150	1
風量	100 CMH	
B O X	300×300×300H	
内貼り	—	

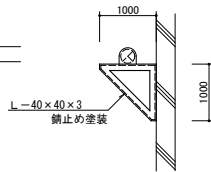
更衣 (男)		
系統	FE-5	
EA	GVS 150×150	1
風量	100 CMH	
B O X	300×300×300H	
内貼り	—	

備置倉庫		
系統	FE-6	
EA	GVS 200×200	1
風量	200 CMH	
B O X	350×350×300H	
内貼り	—	

器具庫		
系統	FE-7	
EA	GVS 250×250	2
風量	300 CMH	
B O X	400×400×350H	
内貼り	—	

器具庫		
系統	バス	
OA	GVS 300×300(F付)	2
風量	300 CMH	
B O X	450×450×400H	
内貼り	—	

廊下・玄関		
系統	バス	
OA	GVS 800×150(F付)	2
風量	600 CMH	
B O X	1100×450×400H	
内貼り	—	



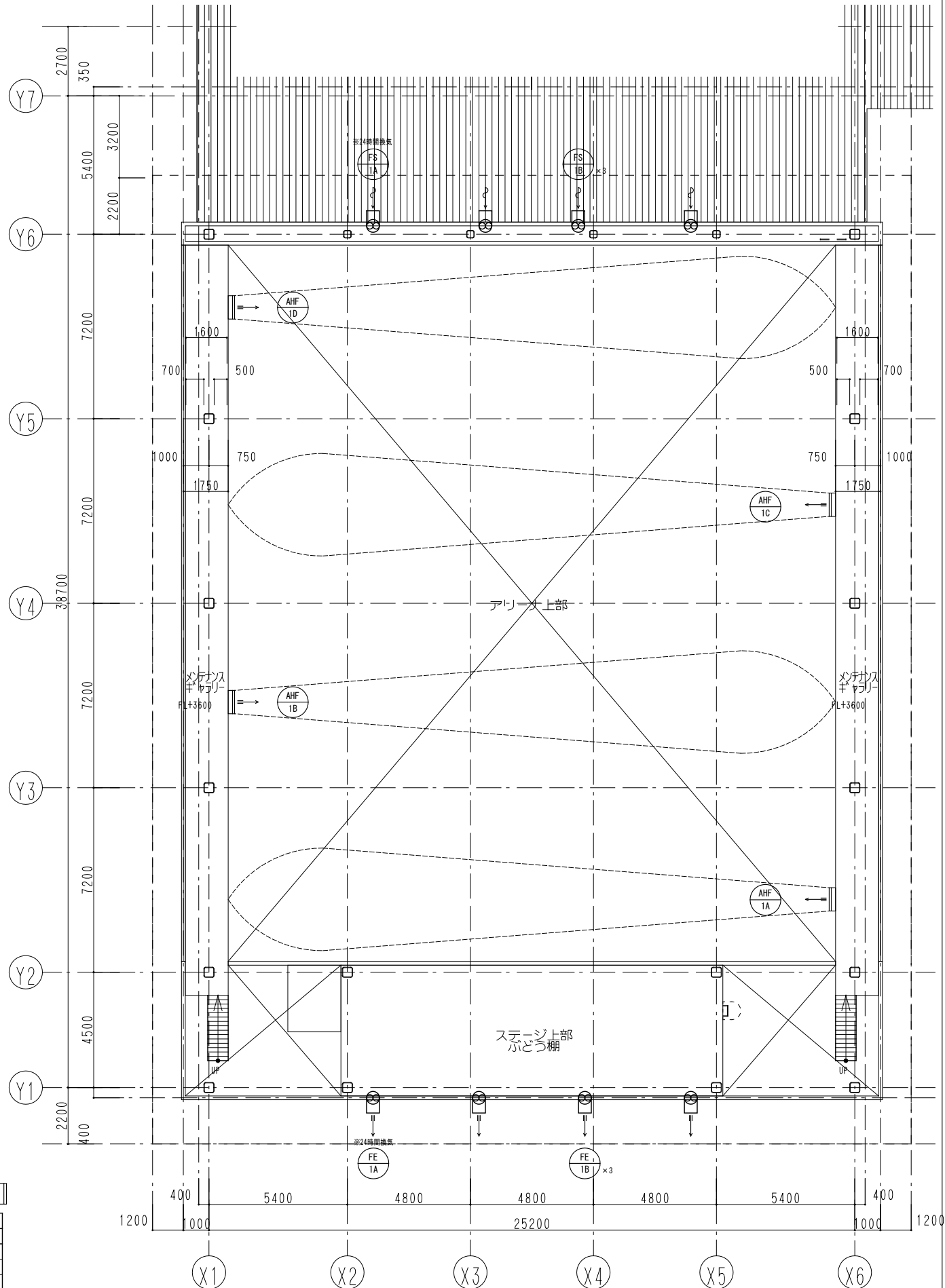
④ダクト用架台 (×3組)

冷媒管サイズリスト (参考)		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	9.5φ
B	9.5φ	15.9φ
C	9.5φ	22.2φ
D	12.7φ	25.4φ
E	15.9φ	28.6φ

空調設備 1階平面図


A1:S=1/100  
A3:S=1/200

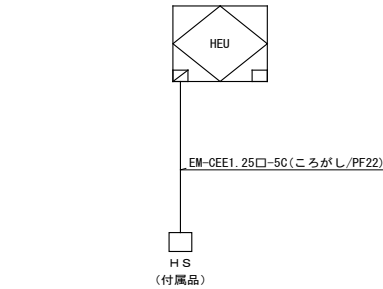
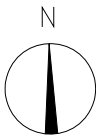
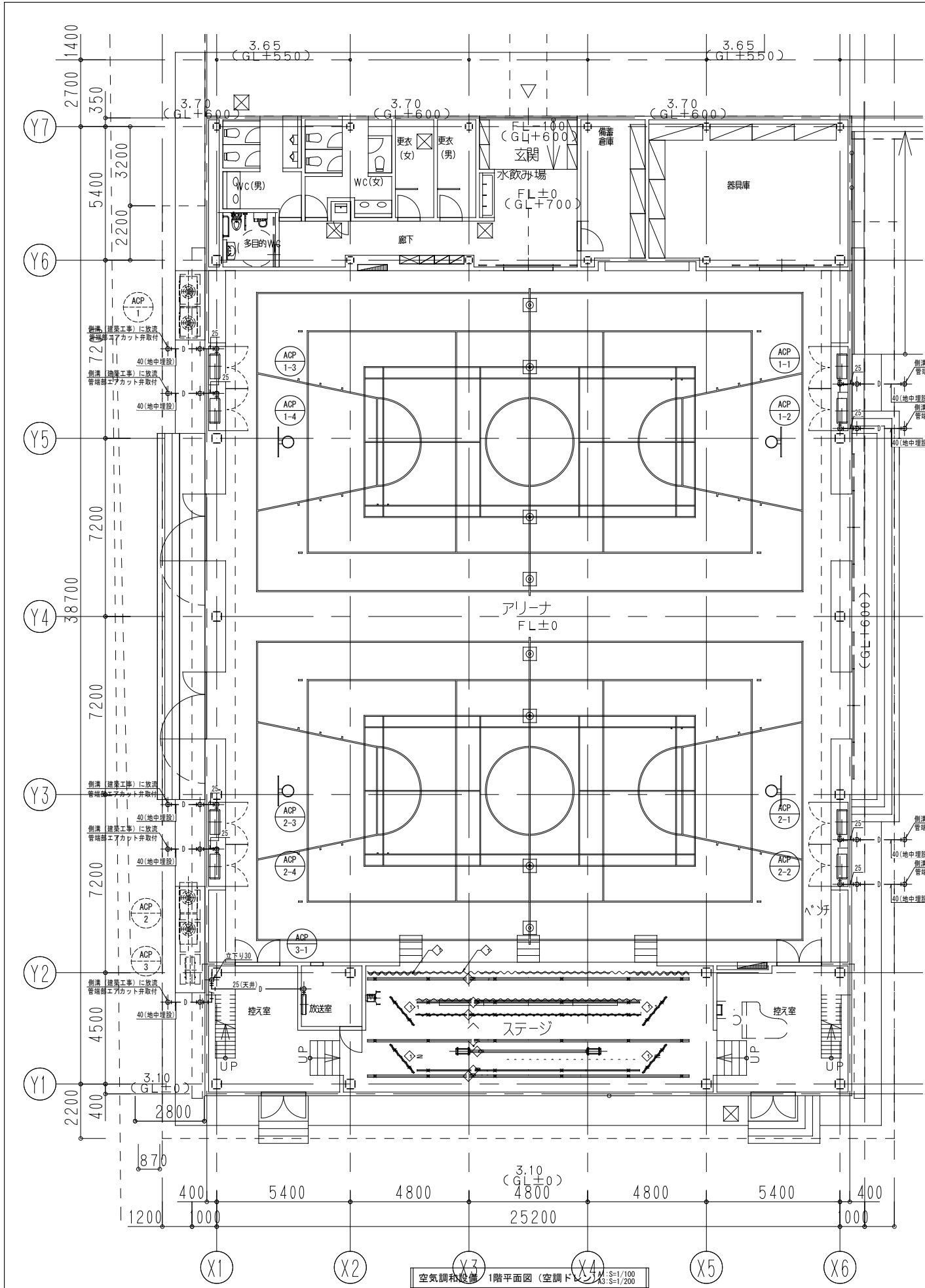
注記1. HEU・OA・EAダクトは、屋内露出仕様に保温する。  
2. 屋外露出する冷媒管は、樹脂製化熱ケースに収納する。



空調設備 1階平面図 (上部)

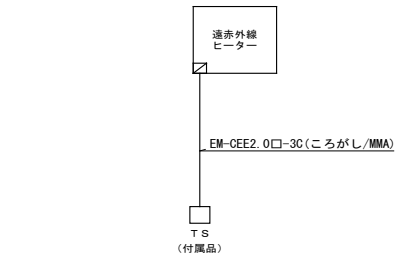
A1:S=1/100  
A3:S=1/200

設 計 図			担当・資格等	<div> Spirit of Place 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田博輔 一級建築士 第301848号</div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校校屋内運動場改築機械設備工事			備考		図面番号  M-06	
			福島直人			岩根敬 一級建築士 第337378号	図面名	空調調和設備 平面図	縮尺				A1:1/100 A3:1/200
							設計年月日	令和7年 5月					



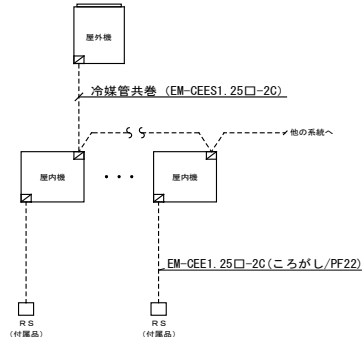
- (注記)
- 電源供給工事は電気設備工事
  - H S (手元リモコン) 機器付属品とする。

HEU 全熱交換形換気扇 配線要領



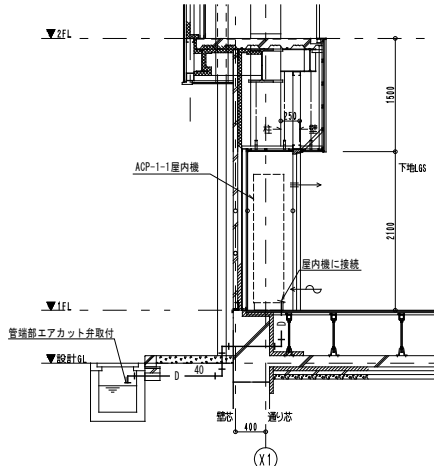
- (注記)
- T Sは機器付属品とする。

EH-2 遠赤外線ヒーター 配線要領



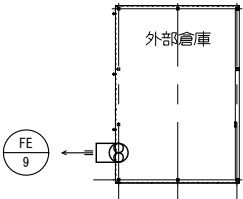
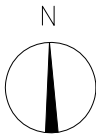
- (注記)
- 屋内機～屋外機間信号線は冷媒管共巻とする。
  - R Sは機器付属品とする。

ACP空冷ヒートポンプエアコン 配線要領



ドレン管施工要領図 A1:S=1/100 A3:S=1/100

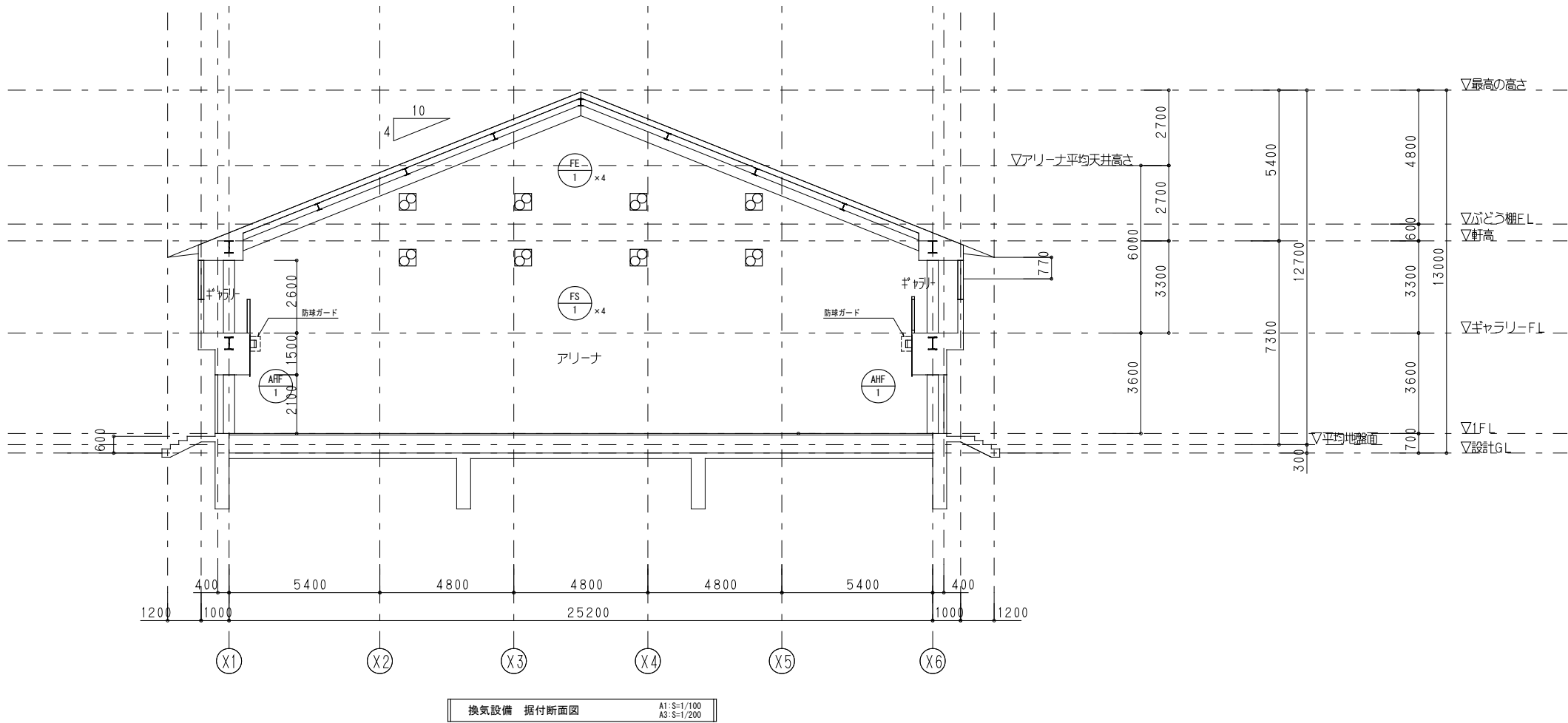
注記1. エアカット弁は逆流防止機能付とする。



空気調和設備 外部倉庫平面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

設 計 図	担当・資格等		<div><div>S</div><div>Spirit Of Place</div></div> <div>関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田 輝輔 一級建築士 第301848号</div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事				備考	図面番号 M-07
	福島直人	岩根敬 一級建築士 第337378号			図面名	空気調和設備 平面図(空調ドレン)・外部倉庫平面図		縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
					設計年月日	令和7年 5月					





換気設備 据付断面図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

設 計 図	担当・資格等		<div>Spirit of Place</div> <div>関・空間設計</div> <div>一般建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田幹雄 一般建築士 第301848号</div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事		備考	図面番号 M-08
	福島直人	岩根敦 一般建築士 第337378号			図面名	換気設備 据付断面図	縮尺		
					設計年月日	令和7年 5月			

### 衛生器具表


[illegible]

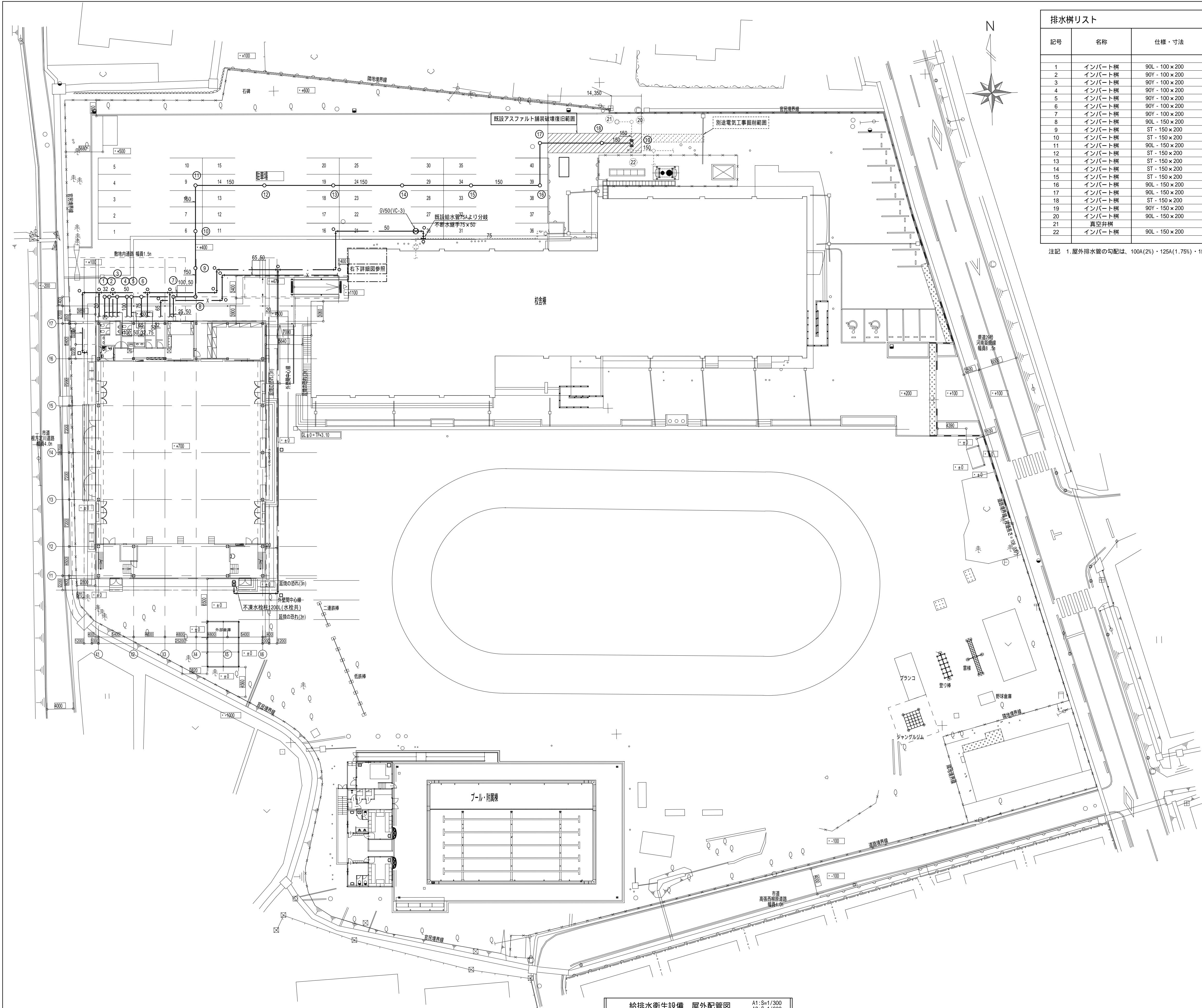
### 衛生機器表

記号	名称	台数	仕様	電動機			設置場所	備考
				φ	V	W		
HB-1	屋内消火栓箱	2	消火器箱併設型 易操作性 1号				アリーナ	
			参考外形寸法：1300×1050×200					
			付属品 バルブ、ホース、ノズル、表示灯（防護ガード付）、指定色焼付塗装					
④	粉末消火器	7	ABC 10型				アリーナ	
							廊下	
							控入室	

特記事項

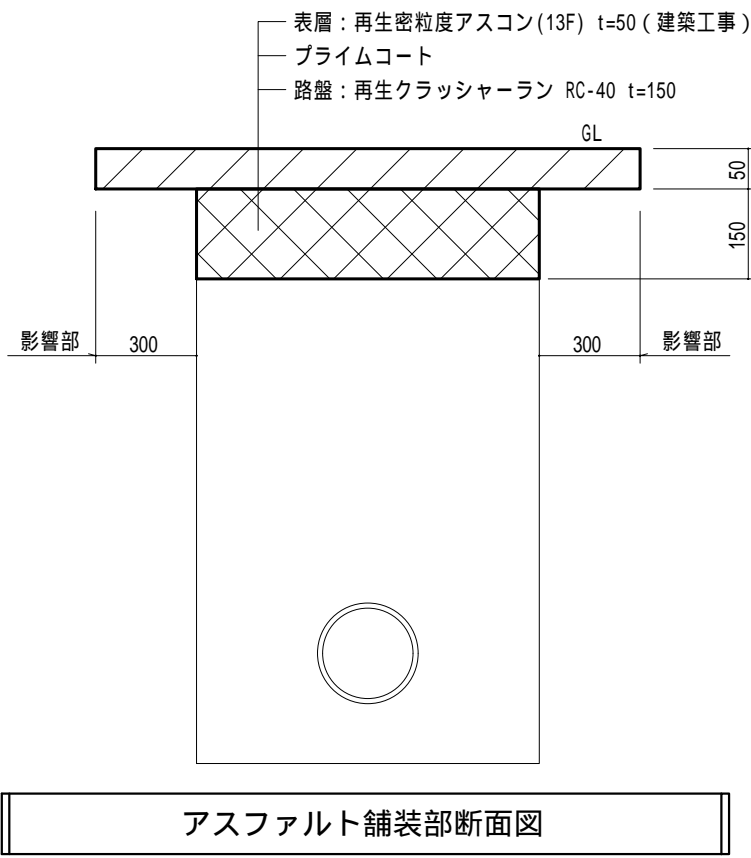
1. ホースの摩擦損失水頭は、18m以下とする。

設 計 図		担当・資格等		 Spirit of Place 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号 M-09
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	給排水衛生設備 機器表・器具表	縮尺	—		
						設計年月日	令和7年 5月				



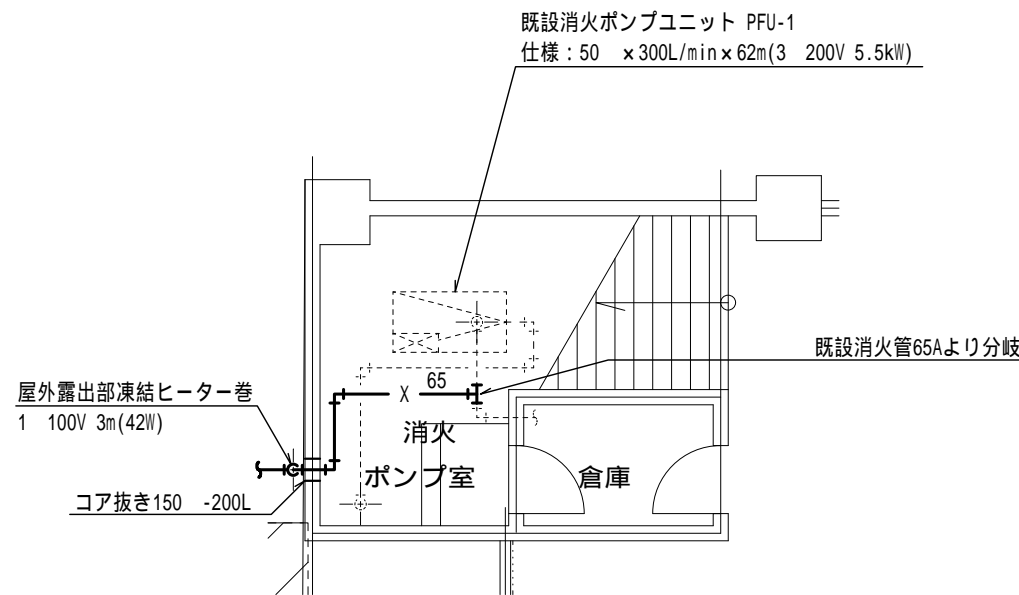
排水樹リスト								
記号	名称	仕様・寸法	管底深さ 設計G L ヨリ (mm)	地盤高さ 設計G L ヨリ (mm)	( - ) 実管底深さ (mm)	樹間距離 (m)	樹仕様	備 考
1	インバート樹	90L・100×200	450	0	450	起点樹	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
2	インバート樹	90V・100×200	470	0	470	0.7	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
3	インバート樹	90V・100×200	500	0	500	1.2	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
4	インバート樹	90V・100×200	530	0	530	1.5	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
5	インバート樹	90V・100×200	550	0	550	0.7	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
6	インバート樹	90V・100×200	580	0	580	1.5	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
7	インバート樹	90V・100×200	680	0	680	4.9	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
8	インバート樹	90L・150×200	750	0	750	3.4	鋳鉄製ふた	小口径塩ビ樹
9	インバート樹	ST・150×200	820	0	820	4.4	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
10	インバート樹	ST・150×200	910	0	910	5.7	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
11	インバート樹	90L・150×200	1020	0	1020	7.0	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
12	インバート樹	ST・150×200	1180	0	1180	10.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
13	インバート樹	ST・150×200	1340	0	1340	10.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
14	インバート樹	ST・150×200	1500	0	1500	10.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
15	インバート樹	ST・150×200	1660	0	1660	10.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
16	インバート樹	90L・150×200	1820	0	1820	10.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
17	インバート樹	90L・150×200	1920	0	1920	6.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
18	インバート樹	ST・150×200	2070	0	2070	9.5	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
19	インバート樹	90V・150×200	2140	0	2140	4.6	鋳鉄製防護ふた(T-25)	小口径塩ビ樹
20	インバート樹	90L・150×200	2340	-150	2190			既設
21	真空井樹		2750	-300	2450			既設
22	インバート樹	90L・150×200	2420	-300	2120			既設

注記 1. 屋外排水管の勾配は、100A(2%)・125A(1.75%)・150A(1.5%)とする。



アスファルト舗装部断面図

注記: 表層部の復旧は、建築工事とする。



消火設備 消火ポンプ室詳細図

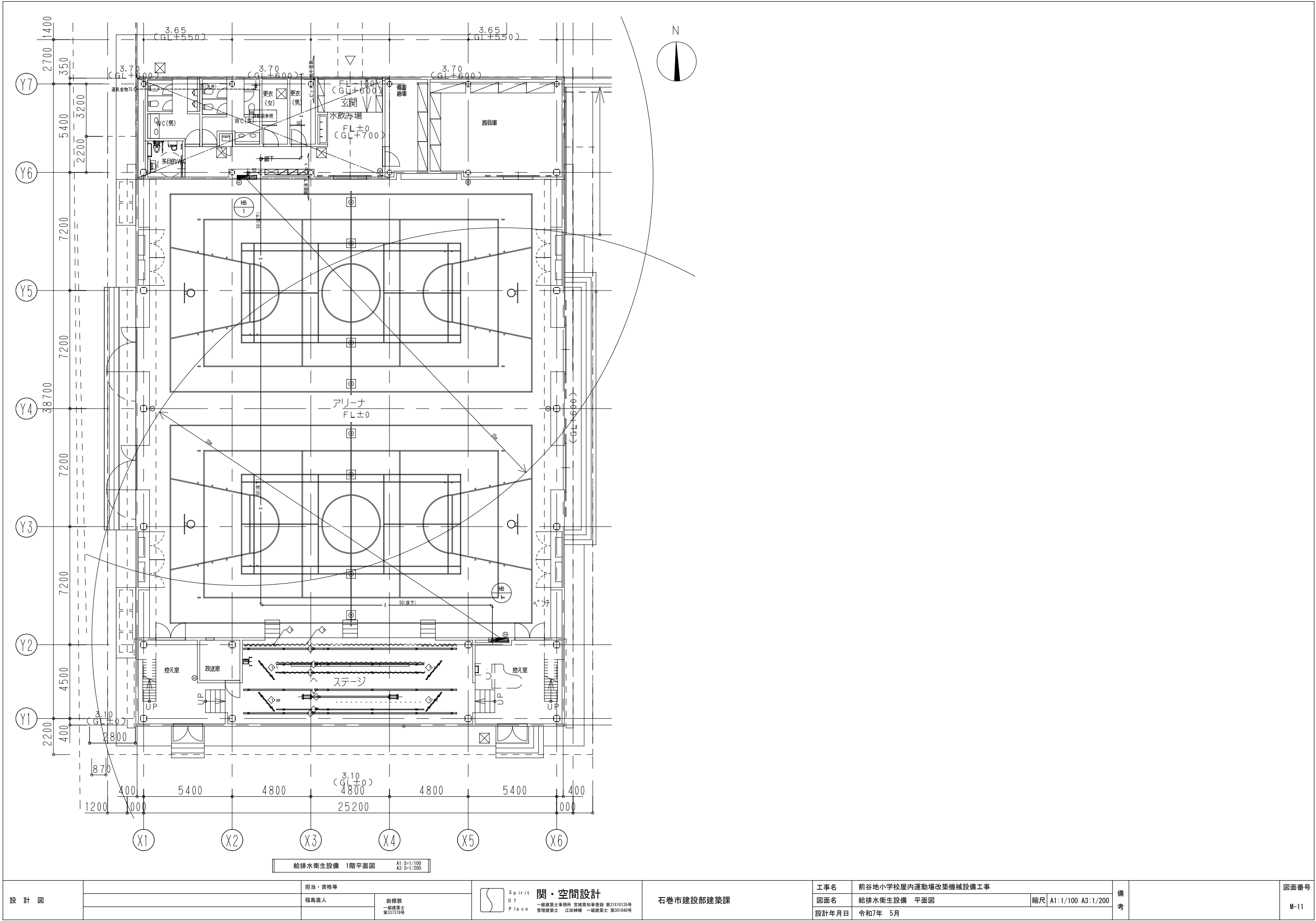
A1:S=1/100  
A3:S=1/200

給排水衛生設備 屋外配管図

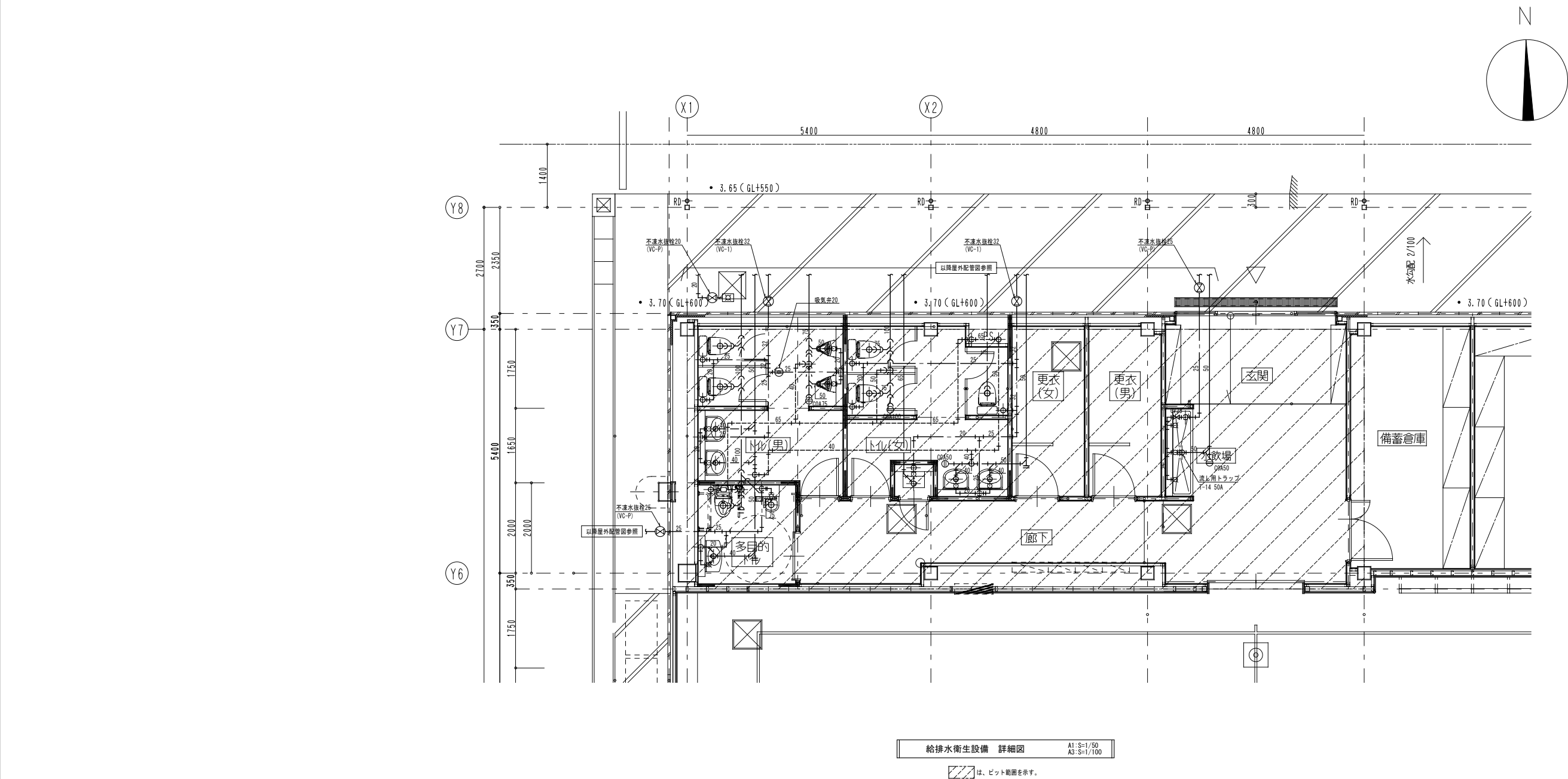
A1:S=1/300  
A3:S=1/600

注1. 既設アスファルト舗装部の掘削時、職員車両及び工事車両の通行を妨げないよう敷鉄板により通行できるようにする。  
敷鉄板(鋼板製22t×1524×3048; 10枚/30日)  
2. 掘削時の水替え用として、水中ポンプ50 相当のリース期間30日を見込む。

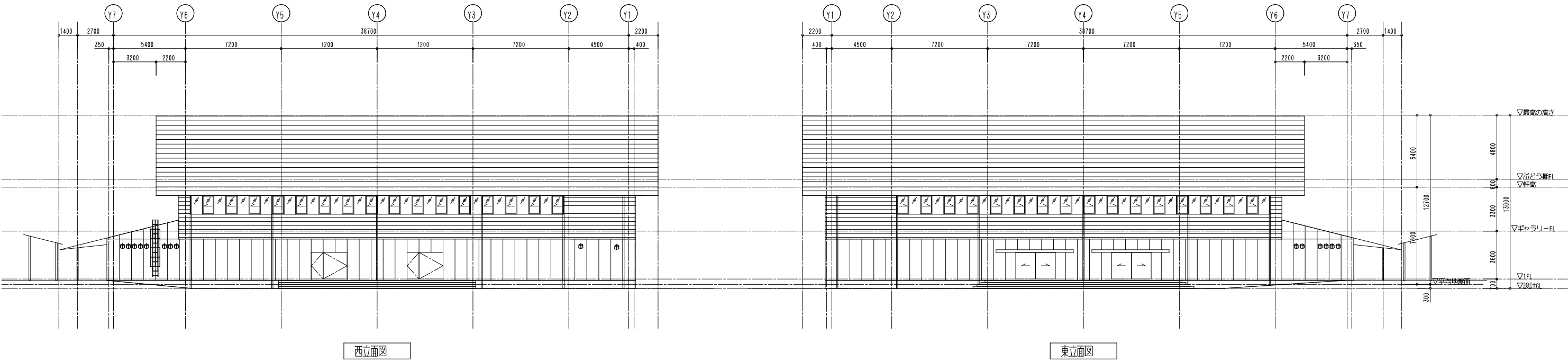
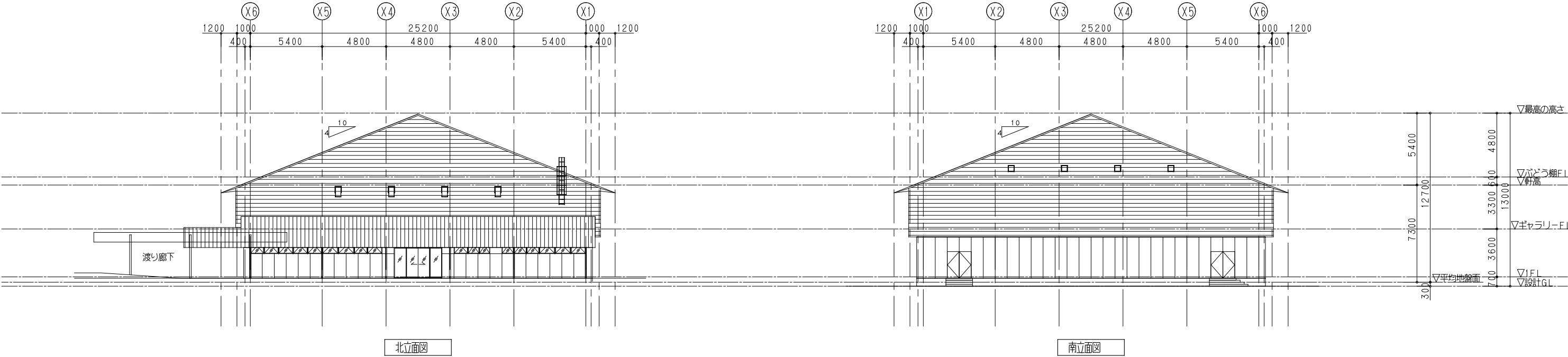
設 計 図			担当・資格等		<div><div><div>S</div><div>Of</div><div>Place</div></div><div><div>Spirit</div><div>関・空間設計</div><div>一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号</div></div></div>	石巻市建設部建築課	工事名 前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事				備考	図面番号  M-10
	福島直人		岩根敦 一級建築士 第337378号	図面名 給排水衛生設備 屋外配管図			縮尺 A1:1/300 A3:1/600					
				設計年月日 令和7年 5月								



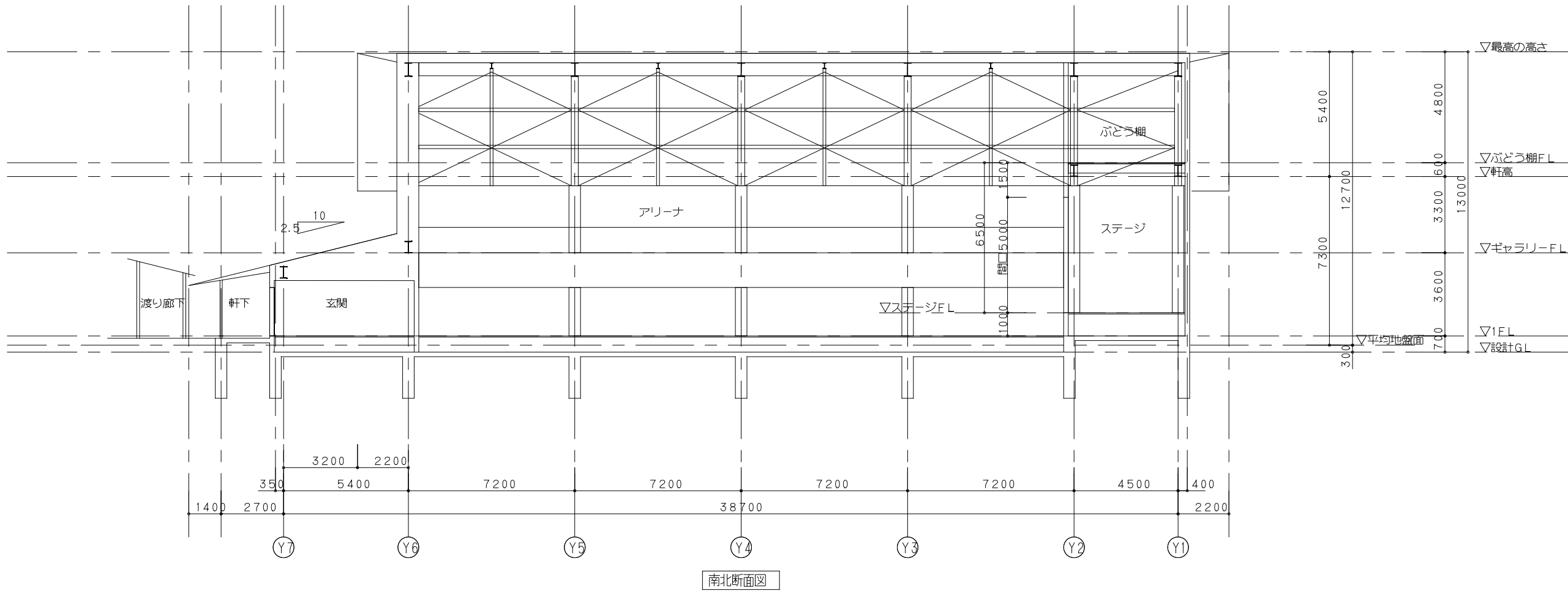
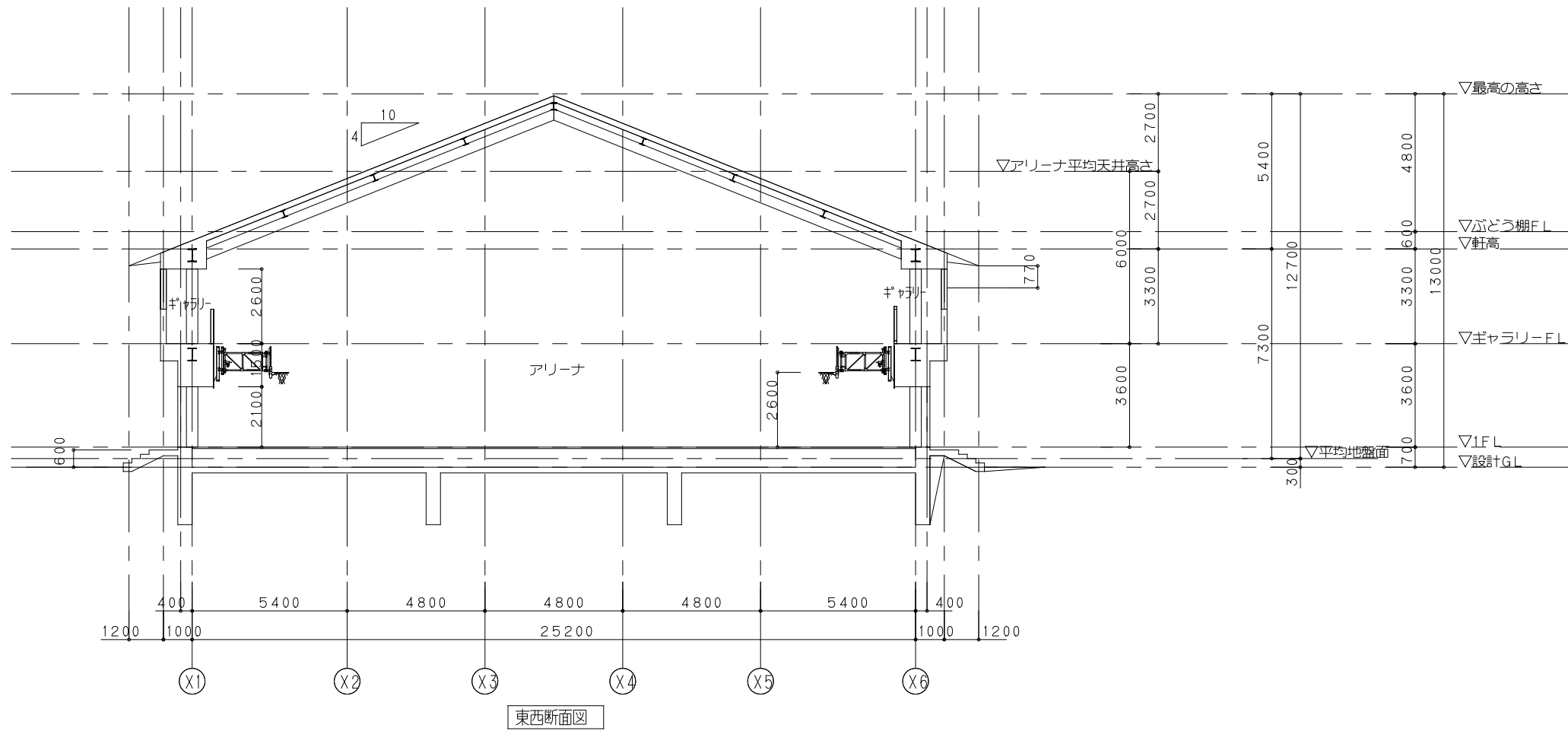
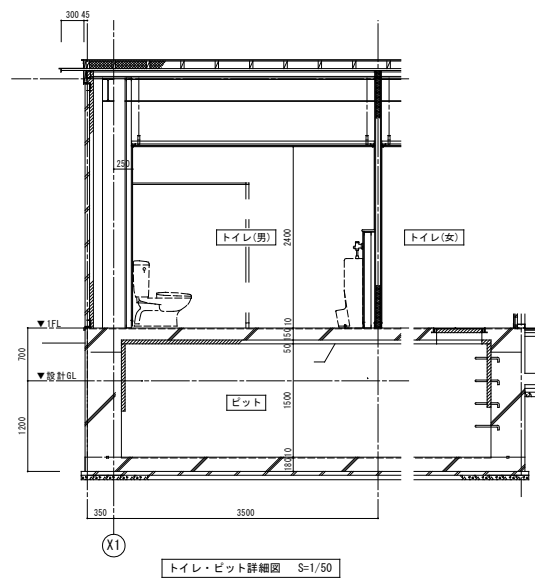
設 計 図			担当・資格等		<div><div>S</div><div>Spirit of Place</div></div> <div>関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田幹輔 一級建築士 第301848号</div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-11
			図面名	給排水衛生設備 平面図			縮尺	A1:1/100 A3:1/200				
			設計年月日	令和7年 5月								



設 計 図	担当・資格等		<div><div>Spirit of Place</div><div>関・空間設計</div><div>一般建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田幹輔 一般建築士 第301848号</div></div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-12	
	福島直人				岩根敦 一般建築士 第337378号	図面名	給排水衛生設備 詳細図	縮尺			A1:1/50 A3:1/100
						設計年月日	令和7年 5月				

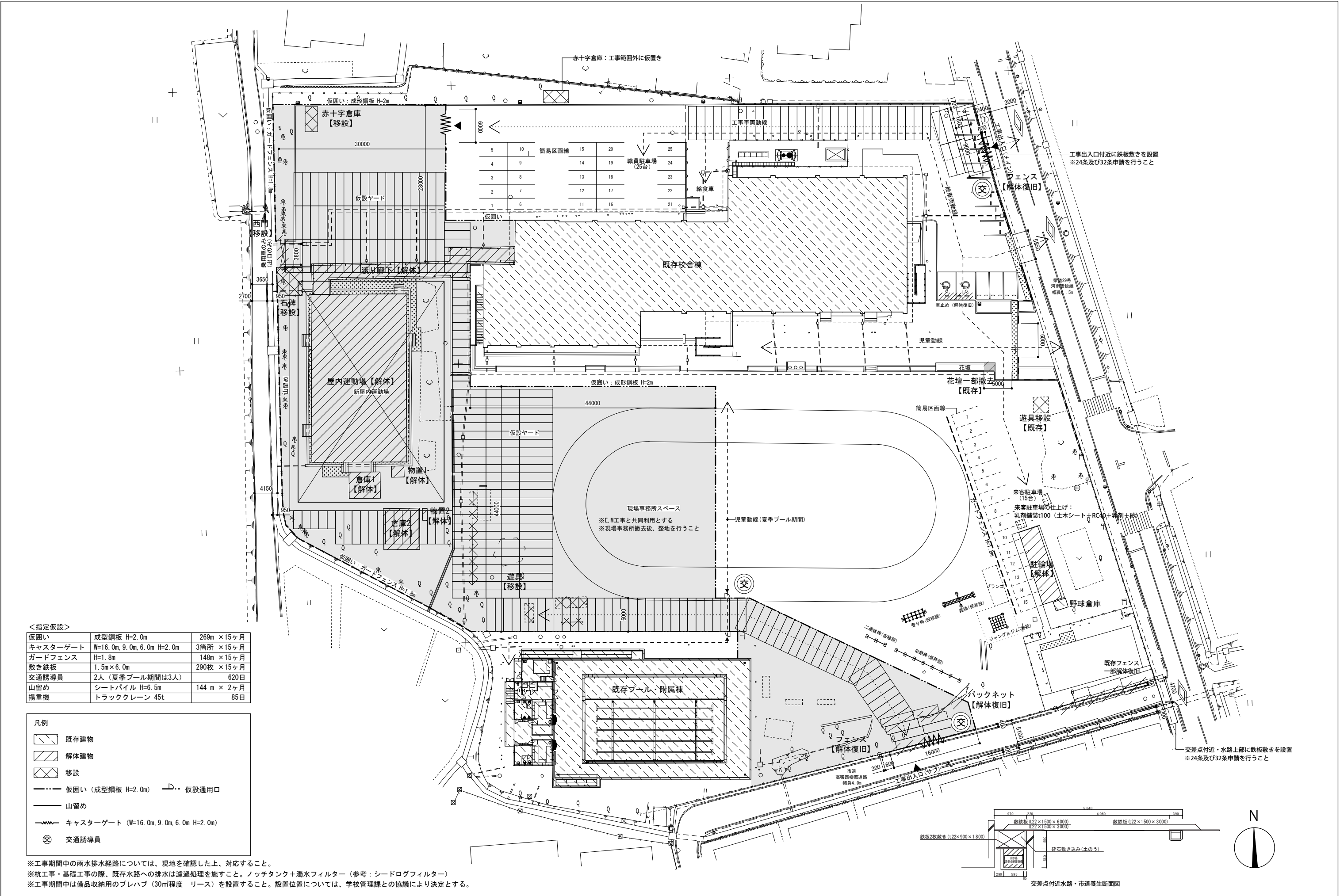



設 計 図	担当・資格等		<div><div>Spirit of Place</div><div>関・空間設計</div><div>一般建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田幹輔 一般建築士 第301848号</div></div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-13	
	福島直人				岩根敦	図面名	建物立面図（参考）	縮尺			A1:1/150 A3:1/300
	岩根敦 一般建築士 第337378号				設計年月日	令和7年 5月					



設 計 図			担当・資格等		<div><div>Spirit of Place</div><div>関・空間設計</div><div>一般建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田幹輔 一般建築士 第301848号</div></div>	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号 M-14
			図面名	建物断面図（参考）			縮尺	A1:1/100 A3:1/200				
			設計年月日	令和7年 5月								





設 計 図	担当・資格等		 Spirit of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田紳輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築機械設備工事			備考	図面番号  M-15	
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337370号			図面名	仮設計画図(参考)		縮尺			A1:1/300 A3:1/600
					設計年月日	令和7年5月					